

製品安全データシート

作成日 2022 年 11 月 17 日

改訂日 2023 年 03 月 17 日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:	ブルックリン HV-mainte 滑水
製品コード:	20-230317W1528 06355、06356
会社名:	株式会社ホーライ
住所:	東大阪市寺前町1丁目9番12号
担当部門:	開発部
電話番号:	06-6728-1318
緊急時の電話番号:	06-6728-1318 (10:00~17:00 土・日・祝除く)
FAX番号:	06-6736-1385
メールアドレス:	info@bulclean.com
推奨用途:	自動車塗装面の保護

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

引火性液体	区分 3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
皮膚感作性	区分 1
誤えん有害性	区分 1
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3

※記載のない項目は分類対象外か分類できない

環境に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険有害性情報:

危険
引火性の液体および蒸気
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

使用前にラベルをよく読むこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地すること/アースをとること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取り扱い後は手をよく洗うこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。火災の場合:消火に適切な消火剤を使用すること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合:

医師の診断/手当てを受けること。特別な処置が必要である(4.応急措置の項目を参照)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。子供の手の届かない涼しいところに置くこと。

【廃棄】

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物(液体)

成分名	含有率・%	CAS-No.	国連番号	化審法	安衛法
オルガノポリシロキサン	非公開	非公開	-	-	-
ドデセン	<30.0	112-41-4	-	2-27	2-27
1-テトラデセン	<30.0	1120-36-1	-	2-27	2-27
ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A	<2.0	84133-50-6	-	7-97	既存
ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル B	<2.0	84133-50-6	-	7-97	既存
プロピレングリコール	<5.0	57-55-6	-	2-234	2-234
プロピレングリコールモノメチルエーテル	<2.0	107-98-2	-	(2)-404	(2)-404
ジメチルポリシロキサン	<1.0	63148-62-9	-	(7)-476	(7)-476

4. 応急処置

- 吸入した場合:** 被災者を新鮮な空気のある場所に移す。
呼吸停止または呼吸が弱い場合は、人工呼吸を行う（衣類を緩め気道を確保する）
- 皮膚に付着した場合:** 汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
多量の水または石けん水で十分に洗い落とす。
- 目に入った場合:** 正常な流水で瞼の裏、眼球のすみずみまで 15 分間以上洗う。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。眼科医の診察を受ける。
目の刺激が持続する場合、気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。
- 飲み込んだ場合:** 無理に吐き出させない。揮発性液体なので吐き出すと危険が増す。
意識がない被災者には、口から何も与えてはならない。
飲み込んだ場合・直ちに医師に連絡すること。
吐かせないこと。
- 応急措置をする者の保護:** 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
- 医師に対する特別な注意事項** 経口摂取した場合、本物質は肺まで吸引され、化学物質による肺炎が起こることがある。適切に治療する。

5. 火災時の措置

- 消火剤:** 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤:** 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、使ってはならない。
- 特有の危険有害性:** 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法:** 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火作業は、可能な限り風上から行う。
関係者以外は安全な場所に退避させる。
周囲の設備等に散水して冷却する。
消火の為に放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護:** 消火作業は風上から行い、特に密閉された場所での消火の作業に従事する者は、必ず自給式呼吸具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:** 関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。
処理作業の際には保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、呼吸用保護具等)を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガス・蒸気を吸入しないようにすること。
- 環境に対する注意事項、回収、中和:** 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。
漏出物を回収するとき用いる全ての設備は接地する。
漏出物を回収すること。
- 二次災害の防止策:** 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策:** 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
熱源・着火源から遠ざけること。

**局所排気・全体換気：
安全取扱い注意事項：**

本製品は、空気雰囲気下において 150℃以上で加熱した場合、微量のホルムアルデヒドを徐々に生成致します。ホルムアルデヒドは皮膚、呼吸器系への感作性、目への刺激性及び発がん性の危険性が報告されております。従いまして、空気雰囲気下 150℃以上で加熱するような条件下でご使用の際は、換気を十分行って下さい。尚、換気が十分でない場合は有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用して下さい。

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。使用前に取扱説明書入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

取り扱い、保管は慎重に行うこと。

裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけません。

直射日光に当てないようにする。禁煙。静電気の放電防止策を施す。

ミスト又は蒸気を吸入しないこと。

長時間の暴露を避けること。

妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。

環境への放出を避けること。排水路に流してはならない。

保管

注意事項：

適切な衛生対策：休憩前や製品取扱直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取り扱う。

保管条件：

容器を密閉して換気の良い冷所で保管する。

直射日光を避け、通風の良い冷暗所に保管する。

40℃以下で保管する。(なるべくなら 25 度未満が望ましい)

保管場所は火気厳禁とする。

酸化性物質・有機過酸化物と保管を区別する。

盗難防止のため施錠保管する。(子供の手の届かないところに保管する)

混触危険物質：

「10. 安定性及び反応性」を参照。

容器包装材料：

元の容器で保管する。消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

製品としてのデータなし

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)：

製品としてのデータなし

日本産業衛生学会

製品としてのデータなし

ACGIH(2005 年版)

製品としてのデータなし

設備対策：

屋内の取り扱い場所は局所または全体排気装置を設ける。取り扱い場所の電気機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策をする。取り扱い場所の近くに洗眼器、シャワーを設け、その位置を表示する。

保護具

呼吸器の保護具：

作業者が暴露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。

手の保護具：

適切な保護手袋(耐油性)を着用すること。

眼の保護具：

保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具：

必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

衛生対策：

この製品を使用する時に飲食または喫煙をしない。取り扱い後は石鹼を用いて手洗い、洗眼、うがいをを行う。製品から発生するミスト、蒸気を吸入しないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：

液体

色：

白色～乳白色

臭い：

原料臭

融点・凝固点：

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲：

データなし

可燃性：

引火性の液体及び蒸気

爆発限界及び爆発上限界

データなし

／可燃限界：

引火点：

40℃ (成分の最小引火点が 40℃)

自然発火点：

データなし

分解温度：

データなし

pH：

7.0 (20℃)

動粘性率：

データなし

溶解度：

データなし

n-オクタノール/水分配係数 (log 値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	0.865±0.05 (20°C)
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の取り扱い条件では安定である
危険有害反応可能性:	重合することがある。酸素、酸化剤と激しく反応し、火災及び爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件:	加熱、過酸化物質、強酸化剤
混触危険物質:	酸化性物質、強酸化剤。水、湿気。アルカリ。
危険有害な分解生成物:	成分に水、湿気及び空気中の水分、酸、アルカリ化合物と穏やかに反応して(加水分解)、下記化合物を生成するものが含有されている。 メタノール 加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。 一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。ホルムアルデヒド。

11. 有害性情報

急性毒性:	分類できない
皮膚腐食性/刺激性:	製品についての情報: 情報不足で分類できない 成分についての情報: プロピレングリコール 区分外 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A, B 区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	製品についての情報: 区分1の成分の含有量が3%未満の為、区分2とした 成分についての情報: プロピレングリコール 分類できない 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A(製品に10%未満の為区分外) 区分2もしくは区分2Aに分類される成分の濃度合計が10%以上であるため区分2とした。ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル: 区分2A 試験動物3匹中2匹で角膜混濁 1.0 結膜発赤 2.0となるが14日で回復する[ウサギ] 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル B 区分1に分類される成分の濃度合計が1.0%以上であるため区分1とした。 Commission Directive 93/21/EEC of April 1993 の基準で EU 区分 R41 と判定。3匹中1匹が21日で角膜混濁の回復をしなかった(ウサギ)
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	製品についての情報: 情報不足で分類できない 成分についての情報: プロピレングリコール データなし 区分外 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A 区分1に分類される成分の濃度合計が1.0%以上であるため区分1とした。→根拠が1%以上とあるので区分1Bと判断した。ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル: 区分1陽性 LLNA法 [マウス](類似品のデータ) 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル B 区分外
生殖細胞変異原性:	製品についての情報: 情報不足のため、分類できない 成分についての情報: プロピレングリコール 分類できない
発がん性:	成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A 区分外 製品についての情報: 情報不足のため、分類できない 成分についての情報: プロピレングリコール 分類できない 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A 区分外 成分についての情報: プロピレングリコールモノメチルエーテル A4ヒトへの発がん性を分類できない
生殖毒性:	製品についての情報: 情報不足のため、分類できない 成分についての情報: プロピレングリコール 分類できない 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A, B 区分外
特定標的臓器毒性 (単回ばく露):	製品についての情報: 情報不足のため、分類できない 成分についての情報: プロピレングリコール 分類できない 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A 区分外 成分についての情報: プロピレングリコールモノメチルエーテル 下記の臓器に影響を与える可能性がある。麻酔作用 区分3
特定標的臓器毒性 (反復ばく露):	製品についての情報: 情報不足のため、分類できない 成分についての情報: プロピレングリコール 分類できない 成分についての情報: ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A 区分外
誤えん有害性:	製品についての情報: 区分1の含有量が10%以上のため、区分1とした。 成分についての情報: ドデセン、テトラデセン 炭化水素であって、かつ動粘性率が40°Cで20.5mm ² /s以下である。区分1

その他の情報

本品は加水分解(水、湿気及び空気中の水分と反応)して、下記化合物を生成する。
メタノール(0.1%未満)
また本製品は、空気雰囲気下において 150°C以上で加熱した場合、微量のホルムアルデヒドを徐々に生成致します。ホルムアルデヒドは皮膚、呼吸器系への感作性、目への刺激性及び発がん性の危険性が報告されております。従いまして、空気雰囲気下 150°C以上で加熱するような条件下でご使用の際は、換気を十分行って下さい。尚、換気が十分でない場合は有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用して下さい。

12. 環境影響情報

**水生環境有害性
短期(急性):**

製品についての情報:区分 3 に分類される成分の濃度合計(換算値)が 25%以上であることから区分 3 とした

成分についての情報:ドデセン、テトラデセン

急性毒性(藻類成長阻害)72hEC50: > 0.097 mg/L[Pseudokirchneriella subcapitata]

成分についての情報:プロピレングリコール 分類できない

成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A

区分 1 に分類される成分の濃度合計(換算値)が 25%以上であることから区分 1 とした。ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル:区分 1

成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル B

区分 1 に分類される成分の濃度合計(換算値)×10+区分 2 に分類される濃度合計の値が 25%以上であることから区分 2 とした。

水生環境慢性有害性:

製品についての情報:情報不足のため、分類できない

成分についての情報:ドデセン、テトラデセン

慢性毒性(ミジンコ毒性)21dNOEC: 0.041 mg/L[Daphnia magna]区分外

成分についての情報:プロピレングリコール 分類できない

成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A 区分外

生体毒性:

成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A

生態毒性・魚毒性:LC50(48hr): 3.3 mg/L[ヒメダカ][類似品のデータ]LC50(48hr): 8.8 mg/L[ヒメダカ][類似品のデータ](ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル)

生態毒性・無脊椎動物毒性:LC50(48hr): 1.0 mg/L[LC50(96hr): 0.73 mg/L] [アミ科(ミシッドシュリンプ)][類似品のデータ]LC50(48hr): 1.3 mg/L[LC50(96hr): 0.62 mg/L]

[Chaetogammarus marinus(ヨコエビ科)][類似品のデータ](ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル)

成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル B

魚毒性:LC50(96hr) 12mg/L(ヒメダカ)LC50(96hr)2.6 mg/L(C.marinus(ヤツメウナギ類))

LC50(96hr)1.2 mg/L(M.bahia(ミシッドシュリンプ))

残留性・分解性:

成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル B

魚毒性:LC50(96hr) 12mg/L(ヒメダカ)LC50(96hr)2.6 mg/L(C.marinus(ヤツメウナギ類))

LC50(96hr)1.2 mg/L(M.bahia(ミシッドシュリンプ))

成分についての情報:プロピレングリコール

易分解性 BOD 1.08g/g COD(Cr) 1.68g/g, COD(Mn) 0.72g/g

成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル A

微生物により容易に分解する(生分解度>97%/JIS K3363-1990)(ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル)

成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル B

生分解度 Degradability>99%(OECD304/JIS k3363-1990)即ち微生物により容易に分解する。BOD5:710ppm(1000ppm 水溶液換算(water solution conversion))ポリオキシエチレンセカンダリーアルキルエーテル

生態蓄積性:

成分についての情報:プロピレングリコール

logPow -0.92~-1.32BCF は1以下である。

土壌中の移動性:

成分についての情報:情報なし

オゾン層への有害性

成分についての情報:情報なし

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:

焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水や給水設備に流さないこと。内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

汚染容器及び包装:

包装・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。容器は洗浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の条例に従い適切な処分をする。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

UN No.:

IMO の規定に従う。

Proper Shipping Name:

1139

COATING SOLUTION (includes surface treatments or coatings used for industrial purposes such as vehicle under-coating, drum or barrel lining)

Class:	3
Packing Group:	III
Marine Pollutant:	Not applicable
航空規制情報	ICAO/IATA の規定に従う。
UN No.:	1139
Proper Shipping Name:	COATING SOLUTION (includes surface treatments or coatings used for industrial purposes such as vehicle under-coating, drum or barrel lining)
Class:	3
Packing Group:	III
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号:	1139
品名:	コーティング液
クラス:	3
容器等級:	III
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号:	1139
品名:	コーティング液
クラス:	3
容器等級:	III
特別の安全対策	
緊急時応急措置指針番号	128

15. 適用法令

労働安全衛生法:	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(ラベル表示・SDS 交付義務対象物質) 通知対象物:プロピレングリコールモノメチルエーテル 表示対象物:プロピレングリコールモノメチルエーテル
毒物及び劇物取締法:	該当せず
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):	第一種指定化学物質 No.407 ホリ(オキシエチレン)アルキルエーテル(C=12-15) 含有量 2.5wt%
化審法(化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律):	優先評価化学物質(α-アルキル(C=12~15)-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(数平均分子量が 1000 未満のものに限る。))
消防法:	第4類第二石油類(非水溶性液体) 危険等級Ⅲ
船舶安全法:	引火性液体類 (オルガノポリシロキサン) 危険物船舶運送及び貯蔵規則(危規則)第3条 有害性物質:船舶による危険物の運送基準等を定める告示(危険物告示)別表第1 環境有害物質(液体)(備考1(4)の表に掲げられたもの及び備考の欄の規定により当該危険物に該当するもの又は備考2(8)の基準を満たすものであって他の危険性を有しないもの) Poly(oxyethylene) secondaryalkylether (ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル)
航空法:	引火性液体類 (オルガノポリシロキサン) 施行規則第194条 その他の有害物件:航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示(危険物告示)別表第1 環境有害物質(液体) Poly(oxyethylene) secondary-alkyl ether(ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル)
外国為替及び外国貿易法	該当せず
港則法	該当せず
道路法:	該当せず
海洋汚染防止法:	有害液体物質X類物質(ドデセン及びオレフィン(炭素数が5から7まで、又は13以上のもの及びその混合物に限る)) 有害液体物質Z類:プロピレングリコール 第3条 海洋汚染物質(Y類):施行令別表第1 Y類物質 脂肪族アルコールポリエトキシラート(セコンダリアルコールでその炭素数が6から17までのものであって、重合度が3から6までのもの及びその混合物に限る。)(ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル)

16. その他の情報

参考文献

原料試薬供給先から提供された SDS 等
安全衛生情報センター GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報
独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

●記載内容は、作成時点で入手できた資料、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質などの値は保証値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には、使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。